

「A」行動	「B」行動	手技統一事項	ワンポイント
<p>「傷病者発見」 「周囲の状況よし」 「反応の確認」又は「意識の確認」 「もしもし」又は「大丈夫ですか」 「反応なし」又は「意識なし」</p> <p>「誰かきて！人が倒れています！」</p> <p>「あなたは119番へ通報して、AEDがあれば持ってきてください。」</p>	<p>「どうしました？」</p> <p>「はい。わかりました。」</p>	<p>(A) 傷病者右肩付近に正座。</p> <p>(A) 傷病者の耳元で呼びかけながら、傷病者の両肩をたたき、体全体の反応を確認。</p> <p>(B) AEDを取りに行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次的災害の危険はないか確認しましょう。 ・大きな声で呼びかけながら、肩をやさしく叩き反応をみる。
<p>「呼吸確認」</p> <p>「普段どおりの呼吸なし」</p> <p>「胸骨圧迫」</p>	<p>「AEDを持ってきました。」</p> <p>「準備します！」</p>	<p>(A) 10秒以内で普段どおりの呼吸があるかないかを確認。</p> <p>【胸骨圧迫】 胸の真ん中を重ねた両手で「強く、速く、絶え間なく」(1分間に100回から120回のテンポで30回圧迫)</p> <p><u>(A)の胸骨圧迫開始から2サイクル中の5カウント目に(B)が到着。(審査員の指示あり)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・胸や腹部の動きをよく見ましょう。 ・両手の指を互いに組むと、より力が集中できますよ。
<p>「1・2・3・4・5～わかりました。 ・・・・～30」</p> <p>「気道確保」</p> <p>「人工呼吸」(▽印は、呼気の吹き込み)</p> <p>▽ (1回目)</p> <p>▽ (2回目)</p>	<p>「水気、貼り薬、ペースメーカーなし」</p>	<p>(B) ケースを開けて、電源を入れ手順に従う。</p> <p>(B) 電極パッドを貼るときに3項目以上確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電極パッドを張り付ける際にも、胸骨圧迫を継続しましょう。

<p>「胸骨圧迫」 「1・2・3・・・30」</p> <p>「気道確保」 「人工呼吸」(▽印は、呼気の吹き込み) ▽(1回目) ▽(2回目)</p>	<p>「離れてください」 「ショックします。離れてください」</p>	<p>(B)電極パッドのケーブルをソケットに差し込む。 (B)AEDの音声のショックメッセージ後にショックボタンが点灯したら、ショックボタンを押して電気ショックをする。 【気道確保】 頭部後屈あご先挙上法で気道確保。 【人工呼吸】 気道を確保したまま、鼻をつまみ、口を大きくあけて傷病者の口を覆い、空気が漏れないようにして、息を約1秒かけて胸が軽く膨らむ程度吹き込む。 いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ショックボタンを押す際は、必ず自分が傷病者から離れ、誰も傷病者に触れていないことを確認します。 ・胸が持ち上がるのを確認しましょう。 ・胸が上がらない場合でも、吹き込みは2回までとして、すぐに胸骨圧迫を開始しましょう。
<p>A、Bで協力し、「胸骨圧迫」30回、「人工呼吸」2回の心肺蘇生法をする。 また、AEDの音声のショックメッセージ後に、電気ショックをする。</p>		<p>(B)の電気ショック後、ただちに胸骨圧迫を開始する。(A、Bどちらでもよい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法を再開して2分ほど経ったらAEDは再び心電図の解析を行います。
<p>A、Bで協力し、「胸骨圧迫」30回、「人工呼吸」2回の心肺蘇生法をする。</p>		<p>電気ショック後、ただちに胸骨圧迫を開始する。(A、Bどちらでもよい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・胸骨圧迫の交代は、疲れていない人が行いましょう。

ここまで1ラウンド！

ここまで2ラウンド！

以上を、4分経過の合図があるまで行います。